

テーマ●歴史と自然がさりげなく生きる街～田端・西ヶ原・王子～

企画趣旨●

東京２３区の北部にある田端・西ヶ原・王子界隈は、庶民派の商店街や生活感のある住宅地が入り交じった街で、一見どこにでもある普通の街だが、じっくり歩くと独特の味わいが見えてくる。この街は、都心と周辺、山の手と下町のちょうど境目に位置し、両者の性格が複雑に交錯している。台地や谷などの地形や水と緑の自然に恵まれ、江戸由来の行楽地や戦前の文士村などの個性的な歴史文化を有している。また、明治の大邸宅が残る一方、迷路のような路地に小さな住宅が密集するヒューマンスケールの街でもある。

このような、自然地形に即した都市構造や歴史文化が継承した土地利用は、東京内部市街地に共通する特色であるが、この街ではそれが明確に現れている。今回は、街を歩き回りながら、そうした自然、歴史、文化的個性はどのような街の魅力につながっているか、そして、暮らしやすい街の条件とはなにか、を探っていこう。

日時●２００７年２月１０日（土）１１時～１７時半（その後、オプション企画へ）

コース●田端地区：田端駅北口～田端大橋プロムナード～文士村記念館～芥川旧宅界隈～田端駅南口～暗闇坂～赤紙仁王～土佐屋和菓子店～ポプラ坂～田端銀座商店街＜昼食休憩＞

西ヶ原地区：女子聖学院～滝野川会館～旧古河庭園～平塚神社＋滝野川公園～西ヶ原市街地住宅～東京ゲート記念館～西ヶ原一里塚～七社神社～旧渋沢邸（青淵文庫＋晩香爐）

王子地区：飛鳥山公園＋３つの博物館～さくら新道～都電王子駅～音無川親水公園＋音無橋～王子神社～北とぴあ（展望室）

根津・千駄木地区：夜の路地裏散策（オプション企画）

参加者●１３名（うち部分参加等４名）

井手幸人、栗原 徹、桜井香織、清水俊哉、野中るみ子、水谷晴子、脇野真澄、脇野陽子、横田宜明（田端地区）、小林正樹（資料提供）、丹野百合（見送り）、森 正代（オプション企画）、大竹 亮（コーディネーター）

＜参加者による評価＞

１■文士芸術家のまち田端（全体） 評価：２．７１（内訳 ＡＡＢＢＣＣＣ）

評価Ａ：文士たちが愛した丘と坂の原風景がすばらしい。坂の上からの眺めが良く、坂を下ると商店街や職人の街に出る。文士の旧宅は失われたが、曲がりくねった路地に面する家々の洋館風の造りや和風の門構えに面影が残る。赤紙仁王や田端銀座商店街からは、この街の庶民性が伝わってくる。

評価Ａ：田端文士村記念館がなければ、駅前の新しい建物がパチンコ屋という状況では、かつてここが文士村だったというのはわからない状況なのが悲しい。

評価Ｂ：実際に歩いてみても、文士芸術家のまちの痕跡はあまり残っていないが、坂道に面した家々の佇まいなどに、文化的な雰囲気を感じられる。

評価Ｂ：趣きのある雰囲気が残っているものの、文士芸術家が住んでいた場所も特定するものがなく、興味を持って歩かないと楽しめない。

評価Ｃ：今となっては、そうと知らなければ文士芸術家の街とは分らない現状が寂しい。

評価Ｃ：このまちを象徴するようなもの、文士芸術家を連想させるようなものを、あまり見つけることができなかった。文士村記念館の建物もごく一般的なオフィスビルの中のように、残念だった。

評価Ｃ：文士村を将来、観光地として扱うのか、普通の住宅地として扱うのか、そういう基本方針が今は無いような印象を持ちました。現状は、普通の住宅地だな、という感想です。この地に住む人たちがどういう選択をするのか、そういう話し合いとかはもたれているのでしょうか。そもそもが、商業や寺社の無い普通の住宅地なので、ある一定の方向性を与えなければ、普通の住宅地として更新されるだけです。文士村を観光地的に扱うのなら、もっと、街なかに案内とかが必要です。田端銀座商店街との連携を強めるのも、良い方法だと思います。

２■邸宅と庭園のまち西ヶ原（全体） 評価：３．２９（内訳 ＡＡＡＢＢＣＣ）

評価Ａ：旧古河庭園の素晴らしさ、一本入った路地の懐かしさと親しみやすさは、歩いて楽しいまちである。

評価Ａ：本郷通りの美しい並木道と、一本入った路地の庶民性の組み合わせが懐かしい。古河庭園だけでなく、平塚神社、西ヶ原一里塚、旧渋沢邸など、歴史を大切にしてきたことが、街に落ち着きをもたらしている。

評価Ｂ：旧古河庭園や公共的な施設が多い地区なので、環境は非常によいが、商店街などの街らしい活気があまり感じられない。

評価Ｂ：旧古河庭園などは想像以上に丁寧に保存されていて良かったが、街全体としては、やはりかつての面影はもうだいぶ、失われてしまっているのでしょうか。

評価C：古河庭園は立派であるが、周辺地域の様子はあまり印象に残らなかった。

評価C：古河庭園は本当に素晴らしいです。それ以外は、あまり大きな家（邸宅？）はほとんど無かったような印象です。むしろかつての商店街が、ほとんど跡形も無いくらい変化し、その周辺の建て詰まりの方が気になりました。災害には、あまり強くなさそうに思います。

3 ■行楽地のまち王子（全体） 評価：3. 57（内訳 A A A B B B C）

評価A：飛鳥山と音無川という自然環境が、都心の駅からすぐの所に揃っているのは珍しい。新幹線と都電がクロスする駅前の風景もなかなかいい。

評価A：石神井川が台地を突き抜けたことによる音無川溪谷の特異な地形が、江戸時代の行楽地として、現代の交通機関（都電から新幹線まで）の交錯点として、この街に独自性を与えている。都内にあって、ダイナミックな自然地形と歴史資産が楽しめる貴重な場所。

評価B：まさに古くからの行楽地のまちですね。飛鳥山公園に音無川、商業の集積、輻輳する交通機関などなど、見どころ一杯です。

評価B：渋沢邸や3つの博物館をかかえた飛鳥山公園、音無川、名主の滝・・・と点の魅力は多いが、面で捉えると、やや面白みに欠ける。

評価B：飛鳥山公園から王子の滝周辺まで、土地の起伏に富み、緑も多く見どころも多い。

評価C：飛鳥山公園自体は良いのだが、岩の広場など、なんだか、なんとも評価しづらい。

4 ■田端・西ヶ原・王子で気に入ったところ（いくつでも）

田端から王子への台地★高低差の大きな細長い台地は、見晴らしの良い、本当に清々しい地形。

ポプラ坂からの眺め★狭い坂道だが、両側の家々の落ち着いた佇まいと、谷を挟んだ向かいの台地までの見晴らしの良さが本当に気持ちよい。文芸家たちが上り下りした時代を想像してしまう。

東覚寺の赤紙仁王★真っ赤な紙がたくさん貼ってあり、ちょっとアート？という驚きがあった。

土佐屋の芋羊羹★純粋な味でとてもおいしい。

田端銀座商店街★小さな商店街だが、肉屋や惣菜屋やおでん屋など、ちょっと昔の商店街らしい趣きが今も残っている。

田端銀座商店街★温かい雰囲気がとてもよい。広すぎない密集具合がよいのでは。

田端銀座商店街★商店街として、歩いていてとても楽しい。道幅もちょうど良い。

田端銀座商店街★屋台感覚でおでんやコロッケをその場で食べることができるのが楽しかった。

田端銀座商店街★買い食いの楽しめるヒューマンスケールの商店街。

田端銀座商店街★活気があって安くていい商店街ですね。駒込駅から離れているとはいっても、思ったより駅に近いのに、駅周辺にお客を取られず、あれだけの活気を保っているのに驚いた。人の流れがどうなっているのか詳しく知りたい。それがわかれば、活気をなくしている商店街の参考になると思う。

女子聖学院付近★女子聖学院のチャペルともう一つの教会(滝野川教会)が一緒に見ることができる地点。

女子聖学院横の坂道★狭く短い坂道だが、落ち着いた雰囲気に、この街の特色が感じられる場所。

旧古河庭園★池を囲む広々とした庭園と重厚な歴史的建築は、自然と歴史を味わえる都心では貴重な空間。

旧古河庭園★崖の地形を活かして、上には石造の洋館とバラ園、下には池と和風庭園がある。和洋の組み合わせが破綻なく調和して実に上手い。

旧古河庭園★邸宅も庭も本当に素敵。邸宅内でいただいたコーヒーがとても美味しかった。

滝野川公園★大通りの奥に立派な公園があり、賑わっていた。

西ヶ原市街地住宅★本郷通りに面して壁面と高さを揃え、背後に中庭を囲み、一階に生活店舗を並べ、上階に住宅を供給するという、ヨーロッパ型の都市住宅の構成原理を忠実に守っている。モダニズム調のストイックでシンプルなデザインが美しい。

本郷通り裏の路地★狭い迷路のような道に小さな家々が建ち並んでいる。妙に懐かしく親しみやすい街。

本郷通り裏の路地★幼い頃に遊んだ路地を思い出す。懐かしさが残っていた。

西ヶ原一里塚★本郷通りの上下車線を分けてまで一里塚を残したことが凄い。地域の歴史と個性を大切に、自分の街を愛し、次代に引き継げるのが羨ましい。そういう気持ちを持てるのが、豊かな地域社会の形成には必要だと思う。単なる交通の利便性だけではいけないのでしょうね。

飛鳥山公園★3つの博物館、花見の名所・飛鳥山公園、見どころが多い。

さくら新道★飛鳥山と線路の間にひっそりと残る飲み屋街は、まるで昭和30年代にタイムスリップした気分。

音無川親水公園★かつての音無川とは雰囲気がかなり違うようだが、それでも水の流れる風景と音無橋のデザインはなかなかのもの。

音無橋★深い溪谷の上方に架かるダイナミックな造形。表現主義風のコンクリートアーチとアールデコ調の橋柱・欄干が非常に美しい。

王子駅前★都電とバスと在来線と新幹線を同時に見れるのが凄くて楽しい。

5 ■この地域の自然地形や歴史伝統、文化芸術についてどのように感じましたか。（自由記入）

- 田端の文士村辺りは尾根の地形で、かつては非常に眺めの良い立地だったと思われ、その眺めを求めて文士たちが集うようになったのではないだろうか。今は文士村の痕跡は残っていないが、街を歩くと、こういった地形や門構え、庭木の風情などを通じて、文化や歴史の雰囲気を感じることができる。
- 田端から王子への高低差の大きな細長い台地は、かつて本当に素晴らしい景観をつくっていたのでしょうか。そこからの眺望も素晴らしかったことでしょう。ただ、それらがだんだん失われていったのだらうと思われます。それが今でもわずかに見て取れました。
- 山の手というのは、昔は本当に眺めがよかったのでしょうか。マンションがない、まっさらな昔の東京をCGでもいいから見てみたいものです。
- 高台と低地をたっぷり歩き、その表情を楽しむことができた。
- 実際にその地を歩きながらの、自然地形や歴史の流れについて説明を聞けることは、とても興味深かったです。こういう地形だから、こうなった、というごく当たり前な流れでも、知らなければ気がつくことなく通り過ぎてしまう。そうして無為な過ごし方をせず、見つめていけるような生活(?)をしていきたい。
- 高台には住宅街、低地には商店街が残っており、歴史のあるまちとを感じる。新興のまちにはない趣きがある。

6 ■この地域の都市景観や生活環境、防災対策についてどのように感じましたか。（自由記入）

- 王子駅付近は、音無川、飛鳥山に加えて、新幹線、首都高速まで含めて、自然と人工物の織り成す、ダイナミックな都市景観となっている。一方で、田端や西ヶ原の密集エリアは、生活観あふれるヒューマンスケールの街並みであり、その対比が非常に面白い。
- 都心にあってお庭のあるお宅が多かった気がしました。そのためか、防災上の危機感はあまり感じなかったです。
- 西ヶ原の路地を歩くことはとても楽しいことではあるが、密集市街地は防災面を考えると消防自動車も入って行けない。このままで良いとは言えなくなってしまう。
- 地下鉄が通ったこともあり、本郷通り沿いはますます高層化がすすむのかもしれない。どんどんまちとしての個性を失い、東京の大通り沿いはどこも似たような景観になっていくような気がする。

7 ●この地域の今後のまちづくりについて、

どういう街を目指して何をやったらいいと思いますか。（自由記入）

- この地域は基本的には住宅地であり、大幅に環境を変えることはあまり望ましくない。各々の街のコミュニティを育ててゆくような街づくりを進めることが大事だと思う。
- すでに成熟しているエリアなので、何をやったらいいというより、このまま変わらないでいてほしい。
- 田端は文士村記念館までであるのだから、もう少し文士を偲んで歩けるような工夫があっても良いのでは。
- 田端銀座周辺に点在していた歴史と個性のあるお店を残していって欲しい。
- まだ、わからない。かつての古いものを取り壊し、新しいものを構築していく最中で、まだはっきりとした形は見えなかった。田端の冊子のような、地域に興味を持てる取り組みはとても良い（作っていても、興味も持てない内容では意味がない）。
- 大きく細長い台地からの景観、眺望を取り戻す。そのために、そういう内容を景観ガイドラインに掲げる事はできないでしょうか。

8 ■今回の企画についての意見など（自由記入）

- いつものTEKU-TEKUと違って、ルートはその場で考え、昼食も途中で買い食いなど、成り行き型の街歩きでしたが、結構楽しかったと思います。（栗原 徹）
- 田端文士村は初めてでしたが、それ以外の場所は3回とか4回目くらいの訪問でした。最初は15年位前ですが、それ以降、あまり変わっていないように思います（そんなことはないのかな）。歴史のある、ゆったりした地域で、落ち着いた散策のできる街でした。（清水俊哉）
- 以前歩いてとても良かった印象のコースなので、再び歩くことができ感謝しています。前回とここが大きく変わってしまったという印象の場所はあまりなかったのが、正直うれしかったです。（野中るみ子）
- 今回のコースは個人的にも歩いたことがある所が多かったが、田端文士村をこれだけ深く歩いたのは初めてで、興味深く楽しめた。（脇野真澄）
- 当日いただいた「街よ！元氣になれ 田端特集」の冊子は、無料冊子とは思えないほど充実した内容だと思った。当日まちを歩いただけでは、このまちの奥深さはあまりわからなかったが、帰ってから、この冊子に載っている内容を見て、奥深いまちなのだと感じた。田端銀座も谷中銀座に決してひけをとらない立派な商店街だと思ったが、知名度は全然違う。田端銀座は初めて知った。かといって「一見の観光客にうけるまち」を目指す必要はないので、このまま謙虚に、今あるまちの良さを深めていけばよいと思う。（水谷晴子）

■コーディネーターより

田端・西ヶ原・王子と3つの街をめぐる欲張りな企画でしたが、何とか日没までに回ることができました。特に、田端地区は時間をかけて歩きましたが、文士たちがこの街を愛した理由がわかってきたような気がします。当日予定外に追加した田端銀座は、活気と賑わいのある元気な商店街でした。西ヶ原地区と王子地区は時間が少なくなってゆっくり楽しめませんでしたが、表通りと路地の対比、大邸宅と庶民住宅の対比、新幹線と都電の対比(?)など、楽しめましたでしょうか。最後に、北とびあの展望室から四周を眺めて終了しました。私自身が生まれ育ち、現在も住んでいるこの街と一緒に歩いてくださり、ありがとうございました。（大竹 亮）

<以上>

- ・評価は A：非常によい（5点） B：良い（3点） C：普通（1点） D：良くない（1点）
- ・評価点は、上記の単純平均値。



田端／文士村界隈の風景



田端／ポプラ坂からの眺め



田端／東覚寺の赤紙仁王



田端／田端銀座の賑わい



中里／聖学院付近の坂道



西ヶ原／旧古河庭園



西ヶ原／公団市街地住宅



西ヶ原／史跡一里塚



王子／飛鳥山公園＋博物館